

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成30年度事業分)

1 施設の概要

<b>施設名</b>	山梨県立あけぼの医療福祉センター成人寮	<b>所管課</b>	福祉保健部 障害福祉課
<b>所在地</b>	韮崎市旭町上條南割3251-1	<b>設置年月日 (改築年月日等)</b>	昭和48年4月1日
<b>管理方式</b>	社会福祉法人山梨県障害者援護協会		
<b>設置根拠 (法律、条例等)</b>	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
<b>設置目的</b>	身体障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。		
<b>主な施設内容 (定員等)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○敷地面積:9,060㎡</li> <li>○建築延面積:3,194.32㎡</li> <li>○建物の構造:鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造平屋建2棟</li> <li>○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・肢体不自由者更正施設棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 3,002.29㎡</li> <li>・温室(鉄骨造平屋建) 110.25㎡</li> <li>・農作業保管庫・陶芸室(鉄骨造平屋建) 81.78㎡</li> </ul> </li> <li>○各障害福祉サービスの定員 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護:45人</li> <li>・短期入所:15人</li> <li>・自立訓練(機能訓練):15人</li> <li>・施設入所支援:40人</li> </ul> </li> </ul>		
<b>主な業務内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)施設等の維持保全に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。</li> </ul> </li> <li>(2)利用者に対する障害福祉サービス業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護、短期入所、自立訓練(機能訓練)及び施設入所支援に係る業務を行う。</li> </ul> </li> </ul>		

2 類似施設・近隣施設

<b>名称 施設内容 利用状況等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あゆみの家:自立訓練(通所 22人、夜間 20人)、短期入所(2人)</li> <li>・梨の実寮:生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人)</li> <li>・あさひワークホーム:生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人)</li> <li>・育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、短期入所(9人)、施設入所支援(90人)</li> </ul>
------------------------------	--

## 3 利用状況

単位:人、%

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)
利用者数	生活介護	42	43	42	
	短期入所	18	20	18	
	自立訓練(機能訓練)	12	10	9	
	施設入所支援	39	37	37	
	利用者数合計	111	110	106	
	目標値	115	115	115	115
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする。			
	対28年度比		99.1%	95.5%	
利用率	96.5%	95.7%	92.2%		

## 4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成29年度	平成30年度 (計画値)	平成30年度 (実績値)	令和元年度 (計画値)
収入	施設利用料	208,391,234	206,380,000	207,711,023	206,970,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	735,584	460,000	677,596	7,130,000
	収入合計(A)	209,126,818	206,840,000	208,388,619	214,100,000
支出	人件費	128,664,989	140,550,000	138,606,119	147,600,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	64,465,672	66,290,000	63,597,154	66,500,000
	うち外部委託費(B)	3,383,597	4,950,000	4,462,694	5,050,000
支出合計(C)	193,130,661	206,840,000	202,203,273	214,100,000	
収支差額(A-C)	15,996,157	0	6,185,346	0	
外部委託比率(B÷C)	1.8%	2.4%	2.2%	2.4%	
利用者一人当たりの経費	1,901,152.9	1,798,608.7	1,965,930.4	1,861,739.1	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:平成31年3月 実施方法:利用者(短期入所を除く)へアンケート 回答数: 50人
-------	---

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
建物の使いやすさ	84.0%	10.0%	4.0%	2.0%
プライバシーや個人情報の保護	84.0%	12.0%	4.0%	0.0%
食事の内容	50.0%	26.0%	20.0%	4.0%
職員の対応の仕方	86.0%	10.0%	2.0%	2.0%
支援内容(訓練以外のこと)	78.0%	22.0%	0.0%	0.0%
訓練内容(日中活動や療法等)	74.0%	22.0%	2.0%	2.0%
施設全般の満足度	76.0%	17.0%	5.0%	2.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>①特殊トイレを広くしてほしい。</li> <li>②居室の温度調節ができない。</li> <li>③居室を開けられるのが嫌だ。</li> <li>④食事に対する不満。</li> <li>⑤職員で言葉づかひの悪い方がいる。</li> <li>⑥外出の機会を増やしてほしい。</li> </ul>
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>①必要とする広さは確保している。今以上広げるのは構造上の制約があり、対応が難しい。</li> <li>②体調に配慮し調整した。</li> <li>③必要な安全確認のため以外は、可能な限りプライバシーに配慮した。</li> <li>④食事については嗜好や味付けなど個人差があるが可能な限り応えられるよう努力した。</li> <li>⑤接遇研修などにより利用者対応の向上に努めている。</li> <li>⑥日中活動の中で外出の機会を増やしている。</li> </ul>

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設の保守管理について、快適な環境を維持するため、管理担当者が主体となって、所定の点検簿により点検を実施した。また専門的なメンテナンスは業者に依頼し、異常を確認したときには必要な措置を行った。	利用者の安全や利便性に留意し、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に対応すること。防犯対策については、日頃から点検項目による自己チェックを行うなど、継続した取り組みをお願いしたい。
運営業務	利用者及び家族に対し当該事業の基本方針及び支援内容を分かりやすく説明するとともに、目標達成に向けた個別支援計画を作成し、支援を行った。 作業療法士、言語聴覚士に加え新たに理学療法士を採用し、セラピスト3人の連携によりリハビリ訓練のさらなる充実を図った。	事業報告書及び現地確認の結果、概ね適性に実施されている。引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
利用状況	施設入所、短期入所及び生活介護事業においては、概ね計画どおりのサービス提供ができた。 自立訓練(機能訓練)においてH30年7月に理学療法士を採用するとともに、新たなリハビリ機器を導入するなど支援の充実と利用者の確保を図った。	関係機関からの実習生や見学者の積極的な受け入れや、ホームページの更新等、施設利用促進のPRに努めている。 自立訓練(機能訓練)については、新たなリハビリ機器を活用し、リハビリテーション病院等、関係機関との連携を図るとともに、質の高いサービスの提供に努力されたい。
収支状況	収入は、ほぼ前年度並みであった。 支出は、社会福祉充実計画の職員体制の強化事業及び介護支援機器等の導入事業の執行により増加が見られた。 その他についてはサービスの質を維持しつつコスト削減に努めた。	安定した施設経営がなされている。今後も、施設・設備の計画的な修繕及び経費の節減に努めるとともに利用料収入の確保に努力されたい。
自主事業	市町村が行う日中一時支援事業の提供については、利用希望者がいなかった。	市町村と連携を図り、事業計画書に基づいて、積極的に日中一時支援事業の提供に努めること。
利用者満足度	「満足」「どちらかと言えば満足」の回答が多く出ている。今後においても、利用者の視点に立ったサービスの提供に心がけていく。また、少数意見に対しても可能な限り対応するよう努めていく。	利用者の満足が図られており、概ね良好な結果であったが、食事の内容に対する不満が高くなっている。引き続き利用者が満足を得られるよう努力されたい。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>障害のある方が自立した社会生活を送れるよう、個別支援計画に基づいた生活支援・各種訓練を行うとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを提供できた。 個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行うことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設管理・運營業務等について、条例、協定等に基づき適正に履行した。質の高いサービスを提供しつつ効率的に運営している。 今後も利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>引き続き条例、協定等に基づき適正な執行を行う。 経費削減に努めるとともに、サービス利用を促すよう広報等行っていく。 利用者に対してよりきめ細やかな支援を行うための計画策定など、引き続き利用者サービスの質の向上に努めて参りたい。</p>

7 管理体制(組織図)

平成30年4月1日現在

